

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年7月2日
【会社名】	文化シャッター株式会社
【英訳名】	Bunka Shutter Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦
【本店の所在の場所】	東京都文京区西片一丁目17番3号
【電話番号】	03-5844-7200(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 西村 浩一
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区西片一丁目17番3号
【電話番号】	03-5844-7200(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 西村 浩一
【縦覧に供する場所】	文化シャッター株式会社西日本事業本部 (大阪府大阪市中央区南船場二丁目11番26号) 文化シャッター株式会社御着工場 (兵庫県姫路市御国野町御着字深見187番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

2020年6月29日開催の当社第74期定時株主総会において決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該株主総会が開催された年月日
2020年6月29日

(2) 当該決議事項の内容

第1号議案 剰余金処分の件

剰余金の配当を行う。

期末配当に関する事項

当社普通株式1株につき、金12.5円

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）9名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）として、茂木哲哉、潮崎敏彦、嶋村悦典、小倉博之、大島亨、藤田義徳、三田充、市川治彦、山崎浩樹の9氏を選任する。

第3号議案 当社株式の大量買付行為への対応策（買収防衛策）継続の件

当社株式の大量買付行為への対応策（買収防衛策）を継続する。

(3) 当該決議事項に対する賛成、反対および棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件ならびに当該決議の結果

決議事項	賛成（個）	反対（個）	棄権（個）	可決要件	決議の結果および賛成割合（％）
第1号議案 剰余金処分の件	614,170	179	-	(注1)	(注3) 可決 99.97
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）9名選任の件 茂木 哲哉 潮崎 敏彦 嶋村 悦典 小倉 博之 大島 亨 藤田 義徳 三田 充 市川 治彦 山崎 浩樹	455,084 484,582 572,740 572,742 572,782 572,742 572,760 572,768 546,743	158,425 129,243 41,609 41,607 41,567 41,607 41,589 41,581 67,606	- - - - - - - - -	(注2)	(注3) 可決 74.18 可決 78.94 可決 93.23 可決 93.23 可決 93.23 可決 93.23 可決 93.23 可決 93.23 可決 89.00
第3号議案 当社株式の大量買付行為への対応策（買収防衛策）継続の件	383,784	230,575	-	(注1)	(注3) 可決 62.47

(注1) 出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数の賛成であります。

(注2) 議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席および出席した当該株主の議決権の過半数の賛成であります。

(注3) 賛成割合の算出方法は、事前行使された議決権の数と当日出席した株主の議決権の数の合計数に対する各議案に関して賛成が確認できた議決権の数の割合であります。

(4) 議決権の数に株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

事前行使された議決権の数と当日出席の一部の株主から各議案の賛否に関して確認できた議決権の数を合計したことにより各議案の可決要件を満たし、会社法上適法に決議が成立したため、当日出席した株主のうち、賛成、反対および棄権の確認ができていない議決権の数は加算しておりません。

以上